

## 『職業インタビュー』（神戸新聞社）振り返り

- ・新聞社に入った理由は、弱い人の味方になりたかった、役に立ちたいということを知って、とても素敵だと思いました。私はびっくりしたことがたくさんありました。1つ目は、1週間に何日取材に行くのかというもので、私は2～3日かなと思っていました。なのに週5日で休みは2日、大きな仕事の時は毎日行くということを知ってとても大変だなと思いました。2つ目は、ネタが他の会社に漏れないようにしているのかという質問で、私はいろいろ工夫していると思っていました。でも実際何もしていないという事を知ってびっくりしました。私は普段、新聞を読む機会はないけれど、少し読んでみたいなと思いました。ずっと続けられているということは、新聞を作ることが楽しいんだなと思いました。最初は神戸新聞社について何も知らなかったけど、いろいろな事を知ることが出来てとても良かったです。
- ・この職業インタビューを通して、仕事は自分がしたい事をするのが一番だなと思いました。神戸新聞社の方も、新聞社に入った理由も意外な理由で、有名人と会いたいからという理由でした。なので、自分が楽しく真面目に取り組める職業を選ぶのが一番なんだなと知りました。とても、インタビューをして学ぶことができました。これからの進路に生かせるようにしようと思います。
- ・実際に働く人と直接話すことで、その人の体験や気持ちを感じることができた。仕事をする上で辛かったこともたくさんあったんだと思った。それでも世の役に立つように、仕事を続けていたのがすごいと思った。最初、「新聞の記者なんてどうしてなりたいんだろう」と思っていたけど、インタビューを聞いて「弱い人の味方になって世の役に立つ」という話から、それぞれの仕事にはちゃんと意味があるんだなと思った。「仕事を選ぶ上でどのようなことが大切か」という質問の答えで、「自分がしたいこと、世の役に立つ仕事を選ぶ」ということが心に残った。参考にしようと思った。また、阪神淡路大震災の時の話も心に残った。辛かったことの中で、事業所の方は震災の時のことをたくさん話されていた。身近な人が亡くなったり、その人に話を聞くことが辛くてもその人の立場に立って記事を書いたんだらうなと思った。その目線で多くの人に事実を知ってもらうことで、世の役に立てるんだと分かった。自分も来てくださった事業所の方の話を大切にして、色々な仕事に興味を持とうと思った。
- ・普段聞けない事を聞いて良かったです。また、インタビューの事なども聞いて良かったです。そして、新聞はあまり読まないし、興味がなかったのでもよく知れて良かったです。また、仕事には嬉しいことや辛いことなどがたくさんあることを知れて、すごく勉強になりました。また、新聞を作るコツなど、私たちでも生かせることも聞いて良かったです。意外なことも多く、記事がもれないようにしていることはないと聞いて、びっくりしました。私は全員に口止めをして厳重になっていると思っていたので、すごく勉強になりました。また、私たちの生活とはかけ離れた仕事をしている人の話を聞くことも、すごく大切だなと分かりました。今まで知らなかったことを知ることはすごく楽しいし、面白いなと改めてこの授業を聞いて思ったし、普段関わりがないからこそ知らなければならないことが、まだたくさんあるのだなと実感しました。
- ・これまで自分は被害者などに質問しに行く人は心がない人みたいな印象をどこか抱いていました。ですが、職業インタビューを行って分かったことは、全員が全員そうではないということです。もちろん、あまりよくないことをする記者はいると思いますが、それでも被害者に寄り添い、しんしに向き合って報道する人がいることを知れて良かったです。

- ・今回、神戸新聞社の三好さんのお話を聞いて、さすが新聞社の方だなあと感じました。インタビューに答えて下さる時にもとても分かりやすく答えてくれたし、質問をまとめてくれた紙もとても分かりやすい内容でした。また、どんな有名人に会ったのかなど、丁寧に教えてくれて、神戸新聞社がどんな会社か、新聞記者がどんなに大変かなど、よく理解できました。印象に残ったインタビューは、仕事に対するやり甲斐です。「自分の記事がきっかけで社会が動くこと」というのがとても驚きました。芸能人や政治に関わっている訳じゃないのに、世間を動かすことができるんだなと思いました。
- ・神戸新聞社には、僕はかたいイメージを持っていましたが、話を聞いて、そんなにかたくはなかったです。話を聞いていて、この仕事について理由の有名人に会いたくて仕事についてそうです。聞いて良かったのは、新聞社で働く人は優しく丁寧に説明してくれ、仕事に一生懸命働いていることでした。
- ・話を聞いた感想は、新聞杯では、地域貢献というのと、他にも囲碁なども実施していて、それをやる理由は、その競技を長く残すという理由に驚きました。そういう大会があるから、長くあるのだと思いました。新聞で社会が動いたりするのすごいと思いました。他に基本的な事件は他と変わらなさそうだと分かりました。
- ・質問する前に相手の機嫌をこわさないように、質問をすみからすみと考えて、みんなとコミュニケーションをとって協力してやったことを発表するのが楽しみです。今日のインタビューに入ってないんですけど、その結果を聞いて自分たちが頑張ったと思います。
- ・神戸新聞社のことを分かって、たくさんことを学びました。仕事には1つのことしかやらないのかと思っていましたが、違いました。他のクラスの発表を聞くのが楽しみです。忙しい中、来てくださって本当にありがたいです。たくさん学びました。
- ・仕事をしたことがないので、本当の気持ちや大変さや楽しいことなど、いろいろ聞くことが出来て、とても良かったです。驚いたことは辞めたいと思ったことがないということです。仕事を選ぶときは大変なことがあるけれど、自分が楽しんで出来ることが大切だと分かりました。それと、その仕事をしていてやり甲斐があることも大切だと思いました。人の役に立つことが出来たら、また頑張ろうと思うことが出来るけれど、何もやり甲斐がないと、次、頑張ろうと思うことが出来なくなるので、やり甲斐は大切だと思いました。なので、私は仕事をするとき、人の役に立つことが出来て、自分が楽しむことが出来る仕事を選びたいと思いました。
- ・質問への回答が、普段のことや調べるだけじゃ分からないような意外な回答が返ってきて、聞いてみて良かったなと思った。また、いろんな質問があっても何のためらいもなく答えてもらい、また全ての質問にも答えてもらい、とてもありがたかったです。あと、新聞記者の仕事が思っていたより大変で、自分が仕事をする時の参考にもなりました。
- ・自分が知らないことがたくさんあって、とても衝撃的な内容も話されていたけど、神戸新聞社ではどのようなことを、どのようにしているのかが分かった。

- ・相手の心を思った行動や言葉を考えて話を聞く。間違っただけをしてしまったら、すぐに謝らなければならない。人脈はとても大切など、たくさんのことを学びました。これらのことを踏まえたいと思います。
- ・僕がこのインタビューで思ったことは2つあります。1つ目は、意外とたくさんネタがあるということです。僕はてっきり事件が起きなければ何も書くことはないと思っていました。というか、三好さん本人が言っていました、ネタがなくても作ればいいという事に気付きました。この言葉が僕は一番印象的でした。どんな事でも、編集者の巧みな言葉使いで記事にできるのはすごいと思いました。2つ目は、確かに記者さんは辛い仕事だと思うけど、思ってた以上に年収が高い事です。
- ・仕事を選ばれた理由が有名人（松田聖子）と会えると思ったからという理由が、本当に面白くて、1人でくすくす笑ってしまいました。三好さんはすごく私たちに分かりやすく、面白く教えてくれたので楽しかったし、頭に入りやすかったです。松田聖子さんと会えたらいいですね!! 今はあいみょんに会いたいそうです。
- ・私はインタビューするまでは、新聞記者のイメージはプライベートなところまで聞いてくる手強い人というイメージがありましたが、実際インタビューしてみると、話しやすく茶目っ気たっぷりな人だと知り、今までのイメージと違い、とてもインタビューしていて楽しかったです。また、たまに出てくる豆知識になるほどと驚かされ、その場合になったら実践してみようと思いました。普段は見れない新聞記者の裏側を知れて面白いと思いました。また、新聞を作るときのコツを実践してみようと思いました。神戸新聞を読んでみたいと思いました。
- ・記者本人からのリアルな話が聞けて楽しかったです。記者なだけあって、いろんな話を聞いたり、話をまとめたりすることが多いと思うので、すごく話をするのが上手だったのですごいなと思いました。
- ・始めの方は緊張していたけど、三好さんが優しくかったので、どんどん慣れていって、最後の方はだいぶリラックスして質問出来ました。三好さんはどんな質問でも面白く答えてくれたので、とてもうれしかったです。質問者は緊張していたけど、最後は楽しく出来て良かったです。
- ・神戸新聞社が新聞を書いている時に工夫していることや、地域のために貢献していることを学べて、自分も仕事をするようになった時に参考にしてみようと思いました。知り合いがたくさん出来る仕事だけど、その人が亡くなった時に取材をしないといけないのが辛いということを知ったことがすごく印象的でした。
- ・神戸新聞社だけではないですが、新聞を作るのにどれだけ大変か知りませんでした。でも、会いたかった有名人に会うことができるうれしい面もありますが、遺族からも話を聞かなければならないので、すごく辛い時があるのだと思いました。
- ・インタビューをするのにも良いニュースだけではないことを感じました。悲しいニュースなどもたく

さんあるけど、そういうのを乗り越えてインタビューしているのがすごいと思いました。

- ・新聞社では基本、週に2日ぐらい取材に行くといっていて、国会などのように大きい事は毎日のように行くと聞いて、新聞社は忙しくない時より忙しい時の方が多いのかなと思いました。有名人に会えるのがすごいなあと思いました。
- ・今回のインタビューで、新聞記者の本音や、仕事のことや工夫していることなど、詳しく知れて良かったと思います。仕事はどれも大変ですが、新聞記者も休日なのにネタが見つかったら記事を書かないといけないなど、話を聞いていて新聞記者の大変さが伝わってきました。
- ・インタビューを聞いて思ったことは、いろいろなことを聞けて良かったし、一番びっくりしたのは、いろんな有名人と会っていいなと思った。